

CD110 promotes pancreatic cancer progression and its expression is correlated with poor prognosis

巖, 子龍

<https://hdl.handle.net/2324/2348703>

出版情報 : Kyushu University, 2019, 博士 (医学), 課程博士

バージョン :

権利関係 : Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (2)

ゲン シリュウ
氏 名： 嚴 子龍
Yan Zilong

論 文 名： CD110 promotes pancreatic cancer progression and its expression is correlated with poor prognosis

(CD110 は膵癌肝転移の進行を促進し、また肝転移の予測因子となる)

区 分： 甲

論 文 内 容 の 要 旨

Thrombopoietin (TPO) の受容体である CD110 は、骨髄性白血病の癌遺伝子あるいは大腸癌肝転移の特異的なマーカーとして報告されている。しかし、膵癌における CD110 発現の意義やその役割については未だ明らかにされていない。膵癌における CD110 発現とその臨床的意義、機能的役割について検討した。CD110 発現の抑制によって膵癌細胞の遊走・浸潤能が有意に低下し、細胞増殖に与える TPO の促進作用も抑制された。また、膵癌細胞の血管内皮下への浸潤において TPO の促進作用が認められた。CD110 発現のノックダウンは、脾臓内移植マウスモデルにおける膵癌細胞の肝転移を阻害した。免疫組織化学染色で、CD110 は正常膵組織の膵管上皮には発現が認められず、主に膵癌原発巣組織の癌細胞の細胞質と細胞膜で発現し、膵癌肝転移巣でも発現が認められた。膵癌切除症例 (n=86) において、CD110 発現陽性群は陰性群よりも全生存期間 (P=0.0003) と無病生存期間 (P=0.0001) とともに有意に短かった。また、肝転移との相関性が認められ、CD110 発現陽性群がより早く肝転移巣を形成した (P < 0.001)。CD110 は膵癌の肝転移を促進し、また肝転移の予測因子となっていた。

